



## 2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年4月27日

上場会社名 フジオーゼックス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7299 URL <https://www.oozx.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 辻本 敏  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員 (氏名) 藤川 伸二 (TEL) (0537) 35-5873  
 定時株主総会開催予定日 2023年6月23日 配当支払開始予定日 2023年6月26日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月23日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

## 1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	21,606	—	869	—	1,052	—	595	—
2022年3月期	22,269	16.5	1,571	120.1	1,784	115.6	985	60.6

(注) 包括利益 2023年3月期 771百万円(—%) 2022年3月期 1,893百万円(206.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	289.67	—	2.2	3.1	4.0
2022年3月期	479.69	—	3.8	5.1	7.1

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 ー百万円 2022年3月期 ー百万円

(注) 2022年3月期は、在外連結子会社4社の決算日の変更等により、当該連結子会社について2021年1月1日から2022年3月31日までの15か月間を連結しておりますので、対前期増減率は記載しておりません。詳細は決算短信(添付資料)2ページ「経営成績等の概況」をご覧ください。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	34,239	27,865	80.0	13,336.12
2022年3月期	34,672	27,362	77.6	13,106.50

(参考) 自己資本 2023年3月期 27,391百万円 2022年3月期 26,919百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	2,689	△1,594	△1,188	5,504
2022年3月期	3,948	△500	△3,462	5,566

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2022年3月期	—	65.00	—	65.00	130.00	267	27.1	1.0
2023年3月期	—	65.00	—	65.00	130.00	267	44.9	1.0
2024年3月期(予想)	—	65.00	—	65.00	130.00		43.1	

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,800	△3.2	150	△75.4	150	△81.8	80	△86.3	38.95
通期	22,000	1.8	1,000	15.1	950	△9.7	620	4.2	301.87

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期	2,055,950株	2022年3月期	2,055,950株
② 期末自己株式数	2023年3月期	2,085株	2022年3月期	2,065株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	2,053,871株	2022年3月期	2,053,917株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	18,409	8.1	244	△51.2	838	△28.1	674	△23.0
2022年3月期	17,029	5.9	500	—	1,166	232.1	876	173.5
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年3月期	328.24		—					
2022年3月期	426.26		—					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	29,223	24,981	85.5	12,162.76
2022年3月期	28,888	24,574	85.1	11,964.44

(参考) 自己資本 2023年3月期 24,981百万円 2022年3月期 24,574百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の予想の前提となる条件等については決算短信（添付資料）4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(会計上の見積りの不確実性に関する追加情報) .....	13
(連結損益計算書関係) .....	13
(セグメント情報等) .....	14
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

## (当期の経営成績)

当連結会計年度におけるわが国経済は、ウクライナ情勢の長期化によって原材料、エネルギー価格が高騰し、物価高に拍車がかかりました。歴史的なインフレとその抑制を企図した欧米各国での急速な利上げが急激な為替変動を招くなど先行き不透明な状況が続いてきましたが、新型コロナウイルス感染症による行動制限・企業の活動制限も大きく緩和されるなど、製造業を中心に景気は緩やかな持ち直しとなりました。

当社グループの属する自動車業界につきましては、依然として半導体を始めとする部品調達不足による生産調整が継続しており、原材料価格、エネルギー価格上昇など、生産への影響は継続しています。

このような市場環境の中、在外連結子会社が前期15か月連結から当期は12か月連結となったことを主因として、前期と比較して海外販売は30.6%の減少となりました（在外連結子会社4社におきましては、前期は、決算日の変更および連結決算日に仮決算を行う方法への変更により、2021年1月1日から2022年3月31日の15か月間の経営成績を連結していることから、在外連結子会社について2021年4月1日から2022年3月31日までの12か月間を連結した場合との比較では16.2%の販売減）。国内販売は市場の回復や原材料・エネルギーコスト上昇分の売価転嫁などにより、前年同期と比較すると14.5%の増加となりましたが、国内外を合わせると3.0%の販売減となりました。（在外連結子会社について2021年4月1日から2022年3月31日までの12か月間を連結した場合との比較では3.9%の販売増）。

利益につきましても、引き続き固定費の徹底圧縮による原価改善活動など収支対策に取り組んでおりますが、海外販売の減少、原材料費、エネルギーコストの増大により前期比利益減少となりました。

以上の結果、売上高は21,606百万円（前期比663百万円減）、営業利益は869百万円（前期比701百万円減）、経常利益は1,052百万円（前期比733百万円減）、親会社株主に帰属する当期純利益は595百万円（前期比390百万円減）となりました。

また、在外連結子会社4社につきまして、前連結会計年度が2021年4月1日から2022年3月31日までの12か月間であった場合の連結経営成績は、売上高は20,786百万円、営業利益は1,198百万円、経常利益は1,418百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は720百万円であります。

## 2023年3月期の連結経営成績（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
2023年3月期	21,606	△3.0	869	△44.7	1,052	△41.1	595	△39.6	289.67
2022年3月期	22,269	16.5	1,571	120.1	1,784	115.6	985	60.6	479.69

（注）2022年3月期の連結経営成績は、在外連結子会社4社の決算日の変更等により、当該連結子会社について2021年1月1日から2022年3月31日までの15か月間を連結しております。

（参考）2022年3月期において在外連結子会社の決算期が12か月間（2021年4月1日～2022年3月31日）であった場合の連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
2023年3月期	21,606	3.9	869	△27.5	1,052	△25.8	595	△17.4	289.67
2022年3月期	20,786	8.7	1,198	67.9	1,418	71.4	720	17.3	350.56

なお、当社グループは、単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ434百万円減少し34,239百万円となりました。総資産減少の主な内訳は、有形固定資産が534百万円であります。有形固定資産は、減価償却等により減少しております。

## (負債)

当連結会計年度末の負債は、前連結会計年度末に比べ937百万円減少し6,374百万円となりました。負債減少の主な内訳は、短期借入金が456百万円、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が297百万円であります。短期借入金および長期借入金は、いずれも返済等により減少しております。

## (純資産)

当連結会計年度末の非支配株主持分を含めた純資産は、前連結会計年度末に比べ503百万円増加し27,865百万円となりました。純資産増加の主な内訳は、利益剰余金が328百万円、為替換算調整勘定が148百万円であります。為替換算調整勘定は、円安の影響により増加しております。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ62百万円減少し、5,504百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は2,689百万円（前連結会計年度は3,948百万円の獲得）となりました。収入の主な要因は、税金等調整前当期純利益915百万円、非資金損益項目である減価償却費2,317百万円、棚卸資産の減少518百万円であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は1,594百万円（前連結会計年度は500百万円の使用）となりました。支出の主な要因は、有形固定資産の取得による支出1,561百万円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は1,188百万円（前連結会計年度は3,462百万円の使用）となりました。支出の主な要因は、短期借入金の純増減額601百万円、長期借入金の返済による支出303百万円、配当金の支払額267百万円であります。

なお、当社グループのキャッシュ・フロー関連指標の推移は下記のとおりであります。

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率 (%)	70.3	77.6	80.0
時価ベースの自己資本比率 (%)	16.2	18.9	23.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	1.6	0.9	1.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	49.8	58.0	30.9

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

- ・いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
- ・株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。
- ・キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。
- ・有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

#### (4) 今後の見通し

当社グループ事業の中心である自動車産業の世界需要は、依然新型コロナウイルス感染症拡大に伴う半導体不足に加え、昨年からのロシアによるウクライナ侵攻に伴う原材料価格、エネルギーコストの高騰や物流の混乱など、国際情勢の悪化などが大きな影響を及ぼしています。世界的に不透明な経済環境が続くものと見込まれますが、今後の自動車業界全体は部品調達不足が徐々に解消し、回復基調に向かうことも見込まれております。

一方、エンジン搭載車を含む自動車業界自体においては、世界的なEV化・HV化への加速動向、またCO<sub>2</sub>排出問題（カーボンニュートラル）等の環境問題やバイオ燃料等の新エネルギー問題への対応、さらには情報化・自動化等といった、正に新時代へ向けた多種多様な変革の局面に立たされております。

このような状況の中、当社グループといたしましては、グループの更なる成長を目指し、今年度は2021年6月に公表いたしました「2023中期経営計画」における3ヶ年計画の最終年度となります。

この中期経営計画の重要テーマとして、今年度も次の3つの大きな課題に取り組んでまいります。

##### 1. 自動車部品事業の安定収益の確保

効率的な生産体制の追求を最重要テーマに、特に省人省力の推進を実施すべく稼働ロス低減・滞留在庫の低減・検査自動化を実践してまいります。

##### 2. 新規事業のスタートおよび基軸への成長

事業戦略に基づく具体的な成果を実現するため、新技術の開発・実用化を進めるとともに、新分野事業・シナジーを活かした事業・地域関連事業等の新規事業の確実な立ち上げを実践してまいります。

##### 3. 効率経営推進による社会貢献

働き方改革・DX推進・BCP等により経営基盤強化を図っていくとともに、「CO<sub>2</sub>排出量20%削減・産業廃棄物排出量50%削減」の目標を達成すべく、ESG経営を実践してまいります。

以上の取り組みを実践し、2024年3月期の通期連結業績予想といたしましては、売上高22,000百万円、営業利益1,000百万円、経常利益950百万円、親会社株主に帰属する当期純利益620百万円を見込んでおります。

#### 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、会計基準について、期間比較可能性等を考慮し日本基準を適用しております。

なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、今後の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,546,134	4,741,467
受取手形及び売掛金	3,726,903	4,118,969
電子記録債権	844,198	919,629
商品及び製品	2,284,894	1,728,227
仕掛品	1,382,969	1,363,762
原材料及び貯蔵品	1,420,943	1,551,847
その他	213,308	1,068,010
貸倒引当金	△7,000	△7,000
流動資産合計	15,412,350	15,484,912
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,122,633	11,359,136
減価償却累計額	△6,784,358	△7,134,030
建物及び構築物(純額)	4,338,275	4,225,106
機械装置及び運搬具	31,630,665	33,040,332
減価償却累計額	△21,239,358	△23,452,794
機械装置及び運搬具(純額)	10,391,307	9,587,538
工具、器具及び備品	1,082,302	1,124,167
減価償却累計額	△859,717	△890,115
工具、器具及び備品(純額)	222,584	234,051
土地	3,246,434	3,270,973
リース資産	256,737	293,251
減価償却累計額	△45,384	△72,694
リース資産(純額)	211,353	220,557
建設仮勘定	143,433	481,632
有形固定資産合計	18,553,385	18,019,857
無形固定資産		
その他	92,867	96,202
無形固定資産合計	92,867	96,202
投資その他の資産		
繰延税金資産	388,508	359,260
退職給付に係る資産	89,407	111,562
その他	156,887	188,076
貸倒引当金	△21,374	△21,344
投資その他の資産合計	613,427	637,554
固定資産合計	19,259,680	18,753,613
資産合計	34,672,029	34,238,525

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,163,750	2,308,633
短期借入金	2,591,330	2,134,935
1年内返済予定の長期借入金	296,506	220,000
未払法人税等	382,474	120,678
リース債務	22,299	30,944
賞与引当金	78,497	87,889
役員賞与引当金	3,950	4,125
その他	1,012,728	977,998
流動負債合計	6,551,534	5,885,202
固定負債		
長期借入金	295,000	75,000
役員退職慰労引当金	5,572	7,290
退職給付に係る負債	143,837	155,357
リース債務	208,679	204,525
その他	105,906	46,151
固定負債合計	758,993	488,322
負債合計	7,310,527	6,373,523
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,018,648	3,018,648
資本剰余金	2,758,706	2,752,738
利益剰余金	20,642,004	20,969,950
自己株式	△9,823	△9,883
株主資本合計	26,409,534	26,731,452
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	564,686	712,223
退職給付に係る調整累計額	△54,978	△53,076
その他の包括利益累計額合計	509,708	659,147
非支配株主持分	442,260	474,403
純資産合計	27,361,502	27,865,002
負債純資産合計	34,672,029	34,238,525



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	22,269,200	21,606,128
売上原価	17,711,170	17,960,904
売上総利益	4,558,030	3,645,224
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	970,081	907,584
荷造運搬費	450,719	429,801
役員賞与引当金繰入額	3,950	4,125
賞与引当金繰入額	18,998	19,426
福利厚生費	233,691	214,136
退職給付費用	68,742	50,073
役員退職慰労引当金繰入額	1,650	1,718
賃借料	58,251	49,488
交際費	19,488	29,529
旅費及び交通費	44,097	42,666
研究開発費	58,928	60,163
業務委託費	293,810	297,959
事務委託費	86,290	94,990
その他	678,698	574,418
販売費及び一般管理費合計	2,987,393	2,776,076
営業利益	1,570,637	869,148
営業外収益		
受取利息	24,746	36,550
受取配当金	388	300
受取賃貸料	21,553	19,330
雇用調整助成金	22,742	—
受取補償金	41,680	2,298
為替差益	166,862	205,229
その他	48,767	51,248
営業外収益合計	326,739	314,955
営業外費用		
支払利息	67,281	86,799
賃貸収入原価	1,455	1,437
固定資産除却損	28,829	41,343
その他	15,475	2,834
営業外費用合計	113,039	132,414
経常利益	1,784,336	1,051,689

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
特別損失		
減損損失	161,668	136,294
特別損失合計	161,668	136,294
税金等調整前当期純利益	1,622,668	915,395
法人税、住民税及び事業税	562,139	263,137
法人税等調整額	83,057	33,737
法人税等合計	645,196	296,874
当期純利益	977,472	618,521
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△7,779	23,571
親会社株主に帰属する当期純利益	985,251	594,950

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	977,472	618,521
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	886,203	149,370
退職給付に係る調整額	29,599	2,673
その他の包括利益合計	915,802	152,043
包括利益	1,893,274	770,564
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,895,022	744,389
非支配株主に係る包括利益	△1,748	26,175

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,018,648	2,758,706	19,928,728	△9,675	25,696,406
会計方針の変更による累積的影響額			△4,964		△4,964
会計方針の変更を反映した当期首残高	3,018,648	2,758,706	19,923,764	△9,675	25,691,443
当期変動額					
剰余金の配当			△267,011		△267,011
親会社株主に帰属する当期純利益			985,251		985,251
自己株式の取得				△148	△148
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	718,240	△148	718,091
当期末残高	3,018,648	2,758,706	20,642,004	△9,823	26,409,534

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△315,470	△84,593	△400,063	444,008	25,740,350
会計方針の変更による累積的影響額					△4,964
会計方針の変更を反映した当期首残高	△315,470	△84,593	△400,063	444,008	25,735,387
当期変動額					
剰余金の配当					△267,011
親会社株主に帰属する当期純利益					985,251
自己株式の取得					△148
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	880,156	29,615	909,772	△1,748	908,024
当期変動額合計	880,156	29,615	909,772	△1,748	1,626,115
当期末残高	564,686	△54,978	509,708	442,260	27,361,502

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,018,648	2,758,706	20,642,004	△9,823	26,409,534
当期変動額					
剰余金の配当			△267,004		△267,004
親会社株主に帰属する当期純利益			594,950		594,950
自己株式の取得				△60	△60
連結子会社株式の取得による持分の増減		△5,968			△5,968
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	△5,968	327,947	△60	321,919
当期末残高	3,018,648	2,752,738	20,969,950	△9,883	26,731,452

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	564,686	△54,978	509,708	442,260	27,361,502
当期変動額					
剰余金の配当					△267,004
親会社株主に帰属する当期純利益					594,950
自己株式の取得					△60
連結子会社株式の取得による持分の増減					△5,968
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	147,536	1,902	149,438	32,143	181,581
当期変動額合計	147,536	1,902	149,438	32,143	503,500
当期末残高	712,223	△53,076	659,147	474,403	27,865,002

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,622,668	915,395
減価償却費	2,607,162	2,317,170
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,676	△30
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△34,558	9,281
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,106	175
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	70,959	14,285
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△40,249	△22,155
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,650	1,718
減損損失	161,668	136,294
受取利息及び受取配当金	△25,135	△36,850
支払利息	67,281	86,799
有形固定資産処分損益 (△は益)	28,559	39,147
雇用調整助成金	△22,742	—
受取補償金	△41,680	△2,298
売上債権の増減額 (△は増加)	454,371	△424,908
棚卸資産の増減額 (△は増加)	197,970	518,086
仕入債務の増減額 (△は減少)	△644,011	78,854
その他	△174,545	△376,562
小計	4,226,799	3,254,400
利息及び配当金の受取額	22,917	35,031
利息の支払額	△68,088	△86,943
雇用調整助成金の受取額	22,742	—
補償金の受取額	41,680	2,298
法人税等の還付額	69,002	58,896
法人税等の支払額	△367,039	△575,064
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,948,012	2,688,618
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△468,328	△1,561,399
有形固定資産の売却による収入	7,176	3,925
無形固定資産の取得による支出	△25,538	△34,759
その他	△13,569	△2,119
投資活動によるキャッシュ・フロー	△500,259	△1,594,351
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,316,385	△601,085
長期借入金の返済による支出	△863,435	△303,463
自己株式の取得による支出	△148	△60
配当金の支払額	△267,011	△267,004
その他	△15,314	△16,145
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,462,294	△1,187,757
現金及び現金同等物に係る換算差額	190,106	31,342
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	175,566	△62,149
現金及び現金同等物の期首残高	5,390,420	5,565,986
現金及び現金同等物の期末残高	5,565,986	5,503,837

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの不確実性に関する追加情報)

当社グループの属する自動車業界における半導体等部品の調達問題やロシア、ウクライナ情勢等の動向を正確に予測することは困難な状況にありますが、販売の減少や原材料を始めとするエネルギー価格の高騰継続等に一定程度影響があるものと仮定し、固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性などの会計上の見積りを行っております。

なお、自動車業界における半導体等部品の調達問題やロシア、ウクライナ情勢等の動向が変化した場合には、翌連結会計年度以降の連結財務諸表に影響を与える可能性があります。

(連結損益計算書関係)

## ※ 減損損失

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

前連結会計年度において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上いたしました。

場所	用途	種類	金額 (千円)
FUJI OOX MEXICO, S.A. DE C.V. (メキシコ合衆国グアナフアト州)	自動車部品製造設備	建物及び構築物、 機械装置及び運搬具	161,668

当社グループは、自動車部品製造の単一セグメントであるため、会社単位を基準として資産のグルーピングを行い、遊休資産については、個々の資産単位でグルーピングを行っております。

これらの資産グループのうち、収益性が低下した事業用資産について、帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失(161,668百万円)として特別損失に計上しております。

なお、当資産グループの回収可能価額は使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローを割引率13.4%で割り引いて算定しております。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

当連結会計年度において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上いたしました。

場所	用途	種類	金額 (千円)
FUJI OOX MEXICO, S.A. DE C.V. (メキシコ合衆国グアナフアト州)	自動車部品製造設備	建物及び構築物、 機械装置及び運搬具	53,416
提出会社 (静岡県)		建物及び構築物、 機械装置及び運搬具 他	82,878

当社グループは、自動車部品製造の単一セグメントであるため、会社単位を基準として資産のグルーピングを行い、遊休資産については、個々の資産単位でグルーピングを行っております。

これらの資産グループのうち、収益性が低下した事業用資産や使用が見込まれない遊休資産について、帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失(136,294千円)として特別損失に計上しております。

なお、当資産グループの回収可能価額は使用価値または正味売却価額により測定しており、使用価値による場合は、将来キャッシュ・フローを割引率14.9%で割り引いて算定し、正味売却価額による場合は、他への転用や売却が困難であることから、正味売却価額を備忘価額としております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社グループの事業セグメントは、自動車部品製造事業のみの単一セグメントであり、重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	13,106円50銭	13,336円12銭
1株当たり当期純利益金額	479円69銭	289円67銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	985,251	594,950
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	985,251	594,950
普通株式の期中平均株式数(株)	2,053,917	2,053,871

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	27,361,502	27,865,002
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	442,260	474,403
(うち非支配株主持分)(千円)	(442,260)	(474,403)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	26,919,242	27,390,599
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通 株式の数(株)	2,053,885	2,053,865

(重要な後発事象)

該当事項はありません。